

心 臓 血 管 外 科

1. 診療科の概要

後天性心疾患（心臓弁膜症、冠動脈疾患など）、大血管（胸部大動脈瘤、解離性大動脈瘤など）・末梢血管（腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症など）、静脈疾患（下肢静脈瘤など）の各専門外来を設けて、これらの疾患に対する外科治療を積極的に行っている。

外科専門医制度と心臓血管外科専門医制度にマッチした指導と症例経験を積み重ねることで、効率よく専門医を取得できる研修プログラムを作成し、本学附属病院及び道内外の15施設に及ぶ連携施設（心臓血管外科専門医認定機構認定施設）における研修を通じて、心臓血管外科医を育成する方針である。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：川原田 修義

指導医：川原田 修義、伊庭 裕、中島 智博、仲澤 順二、柴田 豪

3. 研修担当者

氏名：仲澤 順二

連絡先：bankara@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻

・ 月 7時15分

集合場所：臨床教育研究棟10階 心臓血管外科教室

・ 月以外：8時30分

集合場所：北5階病棟 心臓血管外科・呼吸器外科医師記録室

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
<ショック、体重減少、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、終末期の症候>
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
<脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、胆石症、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、糖尿病、脂質異常症、うつ病>

6. 研修内容

各種検査法や手術室での手洗いはじめとする清潔操作について研修する。

(1) 回診とカンファレンス

- ・ 週1回術前術後患者をふまえたカンファレンスを行う。
- ・ 毎朝机上回診を行った後に病棟回診を行う。病棟回診は毎日朝・夕の2回行う。
- ・ 週1回循環器内科との合同カンファレンスを行う。
- ・ 週1回ハートチームによるTAVIカンファレンスを行う。
- ・ 週1回手術部心臓血管外科チームの看護師と術式カンファレンスを行う。
- ・ 集中治療室入院中の患者に心臓血管外科の患者がいるときは、患者に関してのクリニカルカンファレンスを行う。

(2) 研究会

- ・ 週1回一流医学雑誌の抄読会を行う。
- ・ 随時、大学院生が中心となるリサーチカンファレンスを行う。
- ・ 随時、全国学会および地方会の発表前に予演会を行う。

7. 研修医の主な業務

- ・ 上記のスケジュールで回診や手術に参加する。
- ・ 術前術後の患者病態把握とカンファレンスでの患者プレゼンテーションを行う。
- ・ 患者の病態に即した必要検査のオーダーを行う。

8. 研修スケジュール

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		※1	※2	病棟回診・外来診療								抄読会	
火			※2	病棟回診・手術・病棟管理									
水			※2	病棟回診・手術・病棟管理									
木			※2	病棟回診・手術・病棟管理								※3	※4
金			※2	病棟回診・手術・病棟管理									

※1 7時15分より術前術後カンファ

※2 8時30分より病棟机上カンファ

※3 17時30分よりTAVIカンファ

※4 18時00分より循環器内科合同カンファ

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医機構基本領域専門医資格

- ・ 外科専門医

10. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
市立札幌病院、JR 札幌病院、砂川市立病院、済生会小樽病院、小樽市立病院、日鋼記念病院、市立室蘭総合病院、函館五稜郭病院、市立函館病院、北見赤十字病院、釧路孝仁会記念病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
勤医協中央病院、北海道立子ども総合医療・療育センター、北海道立北見病院